



# みどりの風



令和6年7月18日発行

## 保護者の皆様への感謝と生徒のポテンシャルを実感した合唱コンクール

校長 安藤 晋哉

7月4日（木）今年には加音ホールで全校合同の合唱コンクールを開催しました。

保護者の皆様のご理解とご協力により、生徒たちはなかなか経験できない立派な会場のステージで、これまで練習してきた合唱を披露することができました。生徒たちは初めての会場であることから戸惑うこともありましたが、快適な環境で合唱に浸ることができ、結果として素晴らしい合唱コンクールになったと思います。

加音ホールでの合唱は体育館と違い、歌声の響きや立ち振る舞いの様子などいろいろな面で、気づきを生むものでした。具体的には、声の強弱、ハーモニーとしての響き、伴奏との調和、指揮者の姿、歌い手の表情や立ち姿などはホールならではの聞こえ方、見え方があったと思います。そこで繰り広げられた合唱は学級ごとの色が表出されるとともに、学年が上がるにしたがって、ハーモニーの質も変化し、聞き手の心を揺さぶるものがありました。結果は、1年5組、2年7組、3年3組が各学年の最優秀賞でしたが、どの学級も精一杯に取り組む姿は輝いて見えました。講評をされた声楽家の下茂大二郎先生からは、どの学級にも態度や歌に向き合う姿勢に賞賛の言葉をいただき、今後、さらによい合唱にしていくための「発声の仕方」について実演をとおしたアドバイスをいただきました。

多くの学校で合唱コンクールは学校づくり・学級づくりのよい機会と位置付け、取り組んでいます。どの学校も一生懸命取り組んでいますが、本校の合唱の取組は、どこにも負けない素晴らしいものだと誇らしく思えるもので、今後も伝統として引き継いでほしいものの一つです。この行事に向けて実行委員の皆さんや各学級の伴奏者や指揮者の見えないところでの努力、そして、本番当日の姿に敬意を表します。

今回は、保護者の方々に生徒の合唱を生で観てもらえたことはよかったです。十分な保護者席の確保ができなかったことはお許しください。

私は今回の合唱コンクールをとおして、本校の生徒の「ポテンシャルの大きさ」を改めて実感しました。2学期にある2大行事の体育大会・文化祭とともに、日常の学習活動や立ち振る舞いに大きな期待を抱くことでした。



### 【夏休みに向けて一言】

誰にとっても、1年生、2年生、3年生のそれぞれの夏休みは、今回1回だけです。一度しかないこの夏休みを充実したものとしてください。

自分の命は自分で守る。夏休みは、自分自身の弱い心に負けず、将来の自分から感謝されるような過ごし方をしてください。